

第 16 回 教育委員会会議録（要点）

日時	令和2年11月27日（金）午前10時
場所	庁舎第3別館2階 会議室
出席委員	教育長 田坂敏、委員 村上浩一、委員 篠宮博幸、 委員 西原梨乃、委員 仁志川由香里
欠席委員	なし
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 村上誠二、総務課長補佐 渡部信一、 学校教育課長 大澤誠二 社会教育課長 神野秀夫、 文化振興課長 富田義勝、スポーツ振興課長 松本典久、 学校給食課長 越智淑人、総務課長補佐 別府昭信
傍聴人	報道1社1名
議題	議案第50号 令和2年度教育費補正予算について 議案第51号 今治市基金条例の一部を改正する条例制定について 議案第52号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について その他 ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ・公の施設等評価及びあり方方針E評価施設の状況について ・成人式について ・寄附採納報告について
田坂教育長	傍聴について確認する。
—各委員—	異議なし
田坂教育長	異議なしと認め傍聴を許可する。 (傍聴人入場)
田坂教育長	午前10時1分 開会を宣す。

田坂教育長

日程番号1、第15回の会議録を承認してよいか問う。

—各委員—

承認する。

田坂教育長

日程番号2、会議録の署名委員に、村上委員、篠宮委員を指名する。

田坂教育長

日程番号3、教育長報告を行う。

9月より実施されておりました小中学校の運動会でございますが、11月1日の上浦小学校をもちまして、すべての小中学校において運動会が無事開催されました。

また、今年度、今治市としましては最初で最後のイベントでありました「日本遺産フェスティバルin今治」は、10月10日、11日の両日、テクスポート今治を会場に開催いたしました。四国への接近が心配されました台風14号も直前に進路がそれまして、台風一過の素晴らしい天候に恵まれ2日間で6,500人の方々に来場していただきました。また、コロナウイルス感染者も発生することなく成功裏に終えることができました。

続いて、11月17日には初めての試みとして全国市町村教育委員会がオンラインで行われ、今治市教育委員会からは、篠宮委員さんと私の2人が参加させていただきました。教育の情報化や地域と学校の連携・協働についてや、いじめ・不登校支援について意見交換、情報交換を行いました。

11月22日には、サンライズ糸山を会場に、東京五輪の聖火展示を行いました。市内外より900人もの方々にご参加いただきました。

一方、コロナウイルス感染症の拡大状況でございますが、ここ2週間ほど松山市を中心に感染が拡大しています。学校、福祉施設、飲食店等、様々なところでクラスターも発生しており、県はこのような状況の中で、独自に11月20日よりこれまでの感染症縮小期から感染警戒期へと移行し、感染症対策を強化いたしました。このことを踏まえ、市内小中学校に対しまして注意喚起を促すとともに、感染症対策に万全を期すよう通知いたしました。これからの季節、さらに感染症が拡大することが予想されます。感染状況を注視しながら、国、県の指導のもとに、正しく恐れ、適切な対応に心掛けていきたいと考えております。

その他につきましては、お手元にお配りしております文書をもって、教育長報告に代えさせていただきます。

記

1 報告

- 10月2日(金) 第15回定例教育委員会
10月4日(日) 小学校運動会立花、伯方
10月4日(日) 今治市PTA連合会会長会
10月6日(火) 中学校新人大会(～9日)
10月9日(金) 2020年度B&G修繕助成決定書授与式
10月10日(土) 日本遺産フェスティバルin今治(～11日)
10月14日(水) 中学校新人大会(陸上)
10月14日(水) 小学校陸上記録会(石文化運動公園)
10月18日(日) 小学校運動会(大三島)
10月22日(木) PTA懇談会
10月24日(土) 「えひめ教育の日」推進大会・推進フェスティバル
10月25日(日) 今治芸術祭(ダンス)
10月26日(月) 第2回今治市防災教育推進連絡協議会
10月31日(土) 県民総合文化祭(県民文化会館)
11月1日(日) 小学校運動会(上浦)
11月1日(日) 今治文化芸術祭(生け花)
11月3日(火) いまばり人権フェスティバル2020
11月3日(火) 菊間中学校統合50周年記念式典(菊間中)
11月4日(水) 第2回総合計画策定委員会
11月4日(水) 天皇杯・皇后杯2021年全日本卓球選手権大会
愛媛県予選会優勝報告(ジュニアの部)
11月5日(木) B&G全国教育長会議(～6日)
11月8日(日) 第38回今治文化芸術祭音楽祭
11月10日(火) 愛媛県人権同和教育研究会
11月11日(水) 市議会決算特別委員会(～12日)
11月13日(金) 武道・ダンス授業づくり研究会(日吉中)
11月16日(月) 生徒指導主事会
11月16日(月) キャリア教育推進講演会(中央公民館)
11月17日(火) 市町村教育委員会オンライン協議会
11月19日(木) 文部科学大臣表彰伝達式(立花中)
11月22日(日) 東京五輪の聖火展示会(サンライズ糸山)
11月26日(木) 今治市青少年問題協議会
11月27日(金) 税に関する作文表彰(桜井中)
11月27日(金) 第3回日本遺産フェスティバルin今治実行委員会
11月27日(金) 定例教育委員会

2 予定

- 11月30日(月) 第6回今治市議会臨時会

田坂教育長	質疑はないか問う。
—各委員—	なし
田坂教育長	<議題審議> 「議案第50号 令和2年度教育費補正予算について」、説明を求める。
渡部総務課長補佐	—「令和2年度教育費補正予算について」説明—
田坂教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
田坂教育長	「議案第51号 今治市基金条例の一部を改正する条例制定について」、説明を求める。
松本スポーツ振興課長	—「今治市基金条例の一部を改正する条例制定について」説明—
田坂教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
田坂教育長	「議案第52号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」、説明を求める。
神野社会教育課長	—「今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明—
田坂教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
田坂教育長	「その他」を議題とする。 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」、説明を求める。
渡部総務課長補佐	—「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」説明—

西原委員

語学指導外国青年招致事業ですけれども、ALTの質に関して、JETとnon-JETがあって、JETの方は外国青年招致事業が招致したプログラム参加者ということである程度のプログラムを経験した上で来られていると思うのですが、non-JETの方はそのプログラムに参加していないということでnon-JETの方の中には、英語を母国語とする方からしてみるとものすごく質がどうかというような授業をされている方も結構いらっしゃるという雑誌の記事を読みました。

今治市でも1名、non-JETの方がいるのですが、そういった方がある程度の何かをクリアしているという基準というのはないのかなと思いました。JET参加者の兄弟など様々なケースがあるということですが、ある程度の水準に達しているかないかという判断がないと、子供たちに教えるにあたってレベルの高い方と低い方で差が出るのもどうなのかなと思ひ質問いたしました。

田坂教育長

これにつきましては担当課と相談いたしまして、基準等をできるだけであれば設定をして、とにかく指導力のある方をお招きするという働き掛けていきたいと思ひます。

村上委員

9ページの語学指導外国青年招致事業で、何らかの機会があったらということですが、ぜひ学校現場や子供たちとALTとの心の交流を持たせて欲しいとうことです。せつかく日本に来て、子供たちに外国語を教えるという意欲を持って来ている人達なので、今治の良さ、今治の文化、日本の良さをわかってもらって、今治や日本を好きになって帰ってもらいたい。例えば、来たばかりだと非常に不安もあると思うので困っていることはないかとか、うれしかったことはどんなことかとか、冬休みになって日本にいたのなら、もちつきなんかをする家があれば、声を掛けてあげれば非常に喜ぶと思ひます。私の経験でも、ALTを家に呼んで臼でもちつきを一緒にしましたら、ものすごく喜んで日本に来てよかったと言ってくれたのは非常に心に残っています。日本が好きになる、心のつながりができると子供たちに対する教育についてもより熱が入る、一生懸命教えようという気持ちがわいてくると思ひます。子供たちにとっても、今治の将来にとっても、日本にとってもやはり貴重な人材ですので、ぜひそういう心の交流、今治を好きになるというところで、10ページの学識経験者の意見に書いてあるんですけども、授業以外での触れ合いの時間を、もし取れるのであれば、ぜひ取って交流を図ってもらえるような、どこかでちょっとでも働き掛けていただければと思ひます。現場の先生方、してくださっていると思ひますけど引き続きお願ひしたいと思ひます。

33ページから36ページの学校給食についてですが、34ページの学識経験者の意見に、今治市の給食のレベルは全国的にも高いと聞いていますという記述があります。私はこれを読んで本当にありがたいなと思ったし、かつて学校現場で給食を食べさせてもらっていた者として、確かに給食は美味しく、よかったです。そう思いながら36ページの学識経験者の意見に、食の安全は当たり前と思われませんが、そのためにとても地道な対応をさせていただいていると思いますということが書かれています。これを読んで本当にその通りだと思えます。学校給食に携わる皆さんのおかげで美味しい給食ができているんだと思えます。今治市には約145名の調理員さんがいると伺ったことがありますけども、調理場は夏は暑く、冬はどんなに冷たくても冷たい水で野菜を洗わないといけないし寒い。栄養教諭や栄養士の皆さんは工程表、動線図を毎日作って、それに従って調理員さんは、汚染区域、非汚染区域とに分け、手袋、エプロンを分けて、時間はきっちり時間通りにし、検便もし、しかも異物混入・食中毒を起こさないように細心の注意を払って作ってくれています。が、このことを学校現場の先生や子供たちがどれだけ知っているかというところがあると思えます。何度か調理員さんと話したことがありますけど、一番元気が出るのはやっぱり美味しかったよって言うこと、子供が感謝してくれることと言っています。来年、年が明けると学校給食週間も始まるので、できれば校長先生、そうでなければ栄養教諭あたりから、給食センターがこれだけいろんなことに気を配りながら、一生懸命給食を作っているんだということが、子供たち、学校現場の先生も含めてもうちょっと伝わって、みんなが学校給食に携わっている人に対して、感謝の気持ちが言葉や文になって伝わったらありがたいなというふうに思えます。

給食課長さんは動線図や工程表、当たり前と思っているでしょうけど、案外、現場の先生方は知らないと思えます。保存食をとらないといけないとか、何度以上で何分間調理せんといかんとか。調理場に入るには検便しないと入れないので、なかなかすぐには見に行けない事情もあると思うんですけども、現実には苦労している姿を目の当たりにしたら感謝の気持ちしかない。そういうふうになると思えますので、そういうところを学校現場に伝えて、学校現場から給食関係者の皆さんに感謝の気持ちがもっと伝わるようになればと思えます。感謝していると思うんですけど、もうちょっと具体的に伝わって具体的に返っていくようになると調理員さんたちも元気が出て、機械で切るより手で切る方がおいしいけん手で切ってあげようかという気持ちになってくれるんじゃないかと思えます。

す。学校の先生、子供たちに伝えていくのはなかなか難しいです。保菌検査をしなければ調理場の中に入れません。私たちも含めて毎日健康チェックもしています。朝起きた時に発熱状況を確認して、職場に来た時にも健康状態をチェックし、新型コロナウイルス対策もしております。

実は、毎年この時期にブランドリレー給食の試食会をやってございます。新型コロナの状況ですので、今年度は試食会、ブランド給食だけでなくバイキング給食も含めて中止させていただきたいと思っております。

大澤学校教育課長

委員さんご指摘の通り、調理員さんに対する感謝の気持ち、私も振り返ってみたときに、農作物とか魚関係、肉関係、生産者に対する感謝の気持ちというのはかなり授業の中でも押さえてきたところがあるかと思っております。お話のありました調理員さんの動きとか作業の流れ等については、私も校長になってから見たのが初めてかなというふうな認識でございます。そこら考えますときに、直接、子供たちの指導に当たる担任、そこらにつきましてもしっかりと各学校で理解させた上ですることによって、感謝していただきますというふうな気持ちが子供たちに伝わっていくのかなど。まずは子供たちに接している担任、そこからの指導に今後とも力を注いで参りたいと思っております。

田坂教育長

A L Tの件につきましては、旧市内より旧郡部の方が公民館活動なんかの行事があつて、書道に行ったりとかお茶を習いに行ったりとかというA L Tが何人もおりました。学校の中では当然、学校独自にいろんな交流会とかをしていると思うんですが、引き続きそういったことに力を入れていただくというような形にしたいと思います。

篠宮委員

1-③の登校促進事業・相談員等配置事業の中でコスモスの家について書かせていただいたんですが、17日のオンライン会議の分科会の中でいじめ・不登校に関する分科会とICTに関する分科会の二つの分科会に参加させていただいた中で、非常に少人数5人ぐらいの感じで分科会をさせていただいて、他市、他県のいろんな取り組みを聞かせていただいた中で、今治市のコスモスの家の出席状況が増えたという話もさせていただいたんですが、他県では民間の教育機関を使って、出席できる、授業を受ける体制をとるとか、ラインの相談窓口でいじめ・不登校の防止を図るとか、他市それぞれの方法を使って取り組んでいる。最近は、ICTを使ってリモートの授業を受け入れる、そういう体制で学校に行かなくても、学校に行

っているのと同じ授業を受けられるということも大切で、それに対してWiFi環境を家庭内でもつくりとか、各家庭でそういう環境に取り組む市もあつたりとかされておりました。非常に人員配置も大切ですけど、また違った観点で、まずは同じ授業が受けられるようになる、それが登校につながっていくというふうなことも大切なのかなと思いましたが、この③に関しましてはそういったあたり検討していただきたいと思いました。

教育環境整備事業⑦の中で、今後、特別教室も空調設備を整備していただけると思うんですが、コロナの関係でいろんな対策を取られている中で、まずは安全面に関して今後は対応いただきたいなと思います。特に空調設備については、1回取り付けたらそれで終わりではなくて、清掃であるとか、機器の取り換えとか必要になってきますのでそういったあたり。それからICTの整備については、まずは情報が漏洩しないようなそういった法の整備を早急をお願いしたいと思いました。

3-③公民館活動推進事業の中で、公民館だよりを配布していると回答いただいた意見があるんですけど、広報に合わせて公民館だよりを各家庭に配布していると思うんですけど、うちの地域でもあつたんですが自治会に加入していないご家庭は広報も配布されないというところていくと公民館だよりも配布されない。学校とか地域で配布する機会があれば別の方法で配布していただけないかなと思いました。

最後のその他で記入したのですが、予算、決算額の表示はあるんですけど前年度との対比が難しいところがあるので、わかりやすい表記があればお願いしたいのと、新規・廃止事業など、なぜ廃止になったのかという辺り目的や達成度などの表記もあればよいかなと思います。

神野社会教育課長

各地域の公民館だよりの配布につきまして、配布のタイミング、利便を考えたときに広報とセットで配布というところが多いだろうと思っております。こういったご意見があつたことを公民館の方へ伝えて、そもそも伝えるために作っておることですからそれをどう伝えたらいいのかというようなことを工夫するように、相談を受けたり、支援をしたりしていきたいと思えます。

大澤学校教育課長

1点目の件ですが、不登校児童生徒への支援のあり方につきましては、文科省の方から通知文等が度々出てきております。最近では昨年度に出ておりますが、そこにある程度のガイドラインが示されております。従って、不登校児の出席扱い等も大事ですが、学習内容、どういうふうなことを家庭や民間施設等で学習しているのか、そう

いうふうなところの把握状況等を踏まえながら、出席状況をどうするのかというのが決まっておりますので、今治の子供たちの学習環境がよりよくなるよう通知文等をしっかりと研究して参りたいと思っております。

渡部総務課長補佐

教育環境整備事業についてのご意見をいただきました。まず空調につきましては、特別教室でございますけれども、学校現場の方とか或いは音楽室等、要望を聞いているところでございます。必要度の高いところから順次整備していきたいというふうに考えております。

I C T環境の整備につきましては、今年度末までに一人1台のタブレット導入の予定をしております。家庭での利用につきましては、セキュリティー面とかWi-Fi環境の方を順次進めていく予定でございます。

村上事務局長

先ほど、エアコン等の管理のお話がありました。これにつきましては、定期的な点検とかもきちっとやるということで予算も計上しておりますので、安全に使用ができるように実施してまいります。

予算の前年度との対比であるとか、新規あるいは廃止の事業についての説明については、当初予算の説明の際とか今回のような補正のときになるんですけども決算の報告の時などにそういったことがお話できるような工夫をして参りたいと思います。

田坂教育長

不登校の受け入れですが、G I G Aスクール構想の中で、国がタブレットの配布と同時に家庭で授業を受けれるようなオンライン授業を推奨しています。それによって他の地域では確かに不登校児童生徒がそれで登校できるようになったというようなデータも出ているのですが、逆に言えば、学校に来なくなる児童が増えるんじゃないかという恐れもあります。家に居ながらにして同じような授業を受けられるのであれば別に無理して学校に行かなくてもいいんじゃないかと。学校としては、学校は楽しい、学校の価値を高めるような取り組みを同時にしていかなければ学校制度自体が危ういものになるんじゃないかという強い危惧を持っております。他市の動向も見ながら本当に不登校児童に対してそれが有効な手段なのかどうか、それも検証していきながら、当然ご家庭でも緊急時に備えて授業を受けれるようなオンライン授業のシステムも当然構築していかなければならないと考えているのですが、学校の制度、学校の存在価値であるとか、そういったものをなくさないような取り組みも同時にしていかなきゃならないというふうに思っております。

篠宮委員さんがおっしゃられたことにつきましては検討して参りまして、入れれるものは、今後の方向性の中で取り組んでいきたいというふうに考えておりますのでご理解をお願いいたします。

村上委員

登校促進事業についてですけれども、20ページの事業の評価のところに子供との信頼関係を築いていくためにも、カウンセリング技能の向上のための研修や相談員と学校との情報共有の場の設定を進めていく必要があるとあります。その通りだし、それ以前の大前提の話で、不登校未然防止のために、児童生徒の心の居場所づくりに今後も取り組んでいく必要があるという一言を差支えなければ入れていただきたいという気持ちがあります。と言いますのも、学校訪問に行って授業を見ているとやっぱり雰囲気の良いクラス、子供の表情が生き生きとしているクラスというのは、先生がその子のできたところをよく褒めている。他と比べるのではなくてその子自身、よく頑張ったねと。答えが違っていても、残念そうな表情をしながら他の子供に当ててるのではなくて、おしかったね、よく発表したねと一言かけてから他の子を指名する、そういうクラスは、雰囲気がいいし子供たちの顔も生き生きしている。先生がありがとうとか、よく頑張ったねと。子供にとっては友達ももちろんそうなんですけど、先生のそういう言葉も子供たちの心の居場所につながるんじゃないかなと思います。

21ページの学識経験者の意見に、「いじめの認知件数はこの数字だけで表せない水面下での原因がSNSなどの普及により、これからも増加すると思われるので、指導関係者の情報共有やその勉強会等の開催によるさらなる質の向上を望みます」。これを読んで、私も同感だなと思ったのは、できることなら市PTA連合会の会合とか、それぞれの学校単位のPTAの会などでSNSという多分、悪い情報というかあまりよくない情報を流している傾向が強いんじゃないかと思うんですけれども、反対にみんなでいい噂を流そうというふうなことはできないのかなと。私の言葉で言えば「良い噂の種を撒こう」というふうに言っていたんですけれども。例えば、何かいいことがあったら誰それさんのおかげ、家庭のおかげ、他の先生のおかげと。例えば、陸上でいい記録を出した子がいたら、保護者が陸上の指導者の先生に先生のおかげですと言いに来たら、いえいえ家庭で気をつけてくれたのおかげです。友達のAさんBさんが声をかけてくれたのおかげです。学級担任の先生が知らないところで励ましてくれたのおかげです。先生が陸上のいろんな準備をして、他の先生も励ましてくれたのおかげです。こういういい噂の種を撒いたら、保護者もそういうこともあったのかと、ますますいい雰囲気が広がって、クラス全体、学校全体がいい雰囲気になっていって、いじめ

の防止に繋がる部分もあるのではないかと私は思っています。うわさなんですけど、何かラインで情報が回るのが非常に早いというような話も聞きます。その時に、悪い大事なことは伝えなければいけないんですけども、いい噂も回るようになったら、雰囲気ぐつとよくなるんじゃないかな、子供たちも助け合う雰囲気が出てくるんじゃないかなという気がして、あえて一言言わせていただきました。

田坂教育長

文章化のところではひと工夫させていただきたいと思います。

田坂教育長

他に質問はないか問う。

—各委員—

なし

田坂教育長

「公の施設等評価及びあり方方針E評価施設の状況について」、説明を求める。

富田文化振興課長

—「公の施設等評価及びあり方方針E評価施設の状況について」説明—

田坂教育長

質問はないか問う。

—各委員—

なし

田坂教育長

「成人式について」、説明を求める。

神野社会教育課長

—「成人式について」説明—

田坂教育長

質問はないか問う。

—各委員—

なし

田坂教育長

「寄附採納報告について」、説明を求める。

渡部総務課長補佐

—「寄附採納報告について」説明—

田坂教育長

質問はないか問う。

—各委員—

なし

田坂教育長

午前 10 時 58 分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

村上委員

篠宮委員